

感染症が減って、安心できるまちに



提案など

お店に行ってみると消毒液を使ってない人、マスクをしていない人を見かけます。そこで、お店など公共の場にポスターを貼って目に入るようにすれば、意識する人が増えると思います。チェック表などを作って配ることで、持ち忘れを減らせると思います。また、変なうわさに流されないことで、偏見や差別がなくなります。安心して暮らせるようにできることを考えていきたいです。



市長から

今のところ市内での感染は収まっています。(1月19日現在)当市は観光地で、観光客にも来てもらいたいけど、感染対策もしっかりしなければならない。難しいけど、両方をやらなければいけません。提言してもらったことは今まさにやっています。宿泊施設やお店などは、ポスターなどで感染予防の注意喚起をしているほか、安心して利用できる環境づくりをして広報しています。引き続きみなさんには感染予防を徹底してほしいと思います。感染対策のおかげで、普段流行するインフルエンザがあまり出ていません。コロナ禍で悪い事ばかりではなく、新しい気付きもあります。みんなで乗り越えていきましょう。

災害のない安心安全な未来



提案など

毎年たくさんの土砂災害や水害が起きています。そこで、土砂災害防止策や堤防を作することを提案します。お金と時間がかかりますが、安心できるとともに、県外の人に安心安全なまちとしてPRすることができ、人口増加にもつながると思ったからです。自分たちも何かあったときに備える準備をして、被害にあわないようにしたいと思います。市役所のみなさんも災害に備える安心安全なまちづくりをよろしくお願いします。

市長から

平成23年7月新潟・福島豪雨では、大雨で山が荒れて、根の浅いスギの木などが土石流として一気に流れ出ました。上流での被害は下流まで被害を及ぼします。山が荒れて、水を留める力が弱くなっているの、今、山に手を入れて整備するなどの対策が進んでいます。上流に砂防堰堤というダムを作って、土砂の流出を防いでいますが、もっと作る必要があります。災害が起きた時は、市の職員も被災しているので、行政がすぐ駆けつけられません。地域の力、人との付き合いが災害の時に明暗を分けます。人との付き合いが薄まっている現代で、もう一度考えないと本当の災害に強いまちは作れないと思っています。一緒にがんばりましょう。

私たちに続くふるさとづくりをやってくれる人がいるといいなと思います。私たちが今担当している世代なので、次の世代のために、仕事ができる場所や、魅力のある何かを作ったり整備したりするようがんばっていきます。



林市長



倉橋陽之進さん

市長の話聞いて、南魚沼市の全体のことを考えているので、すごいと思いました。ほくも他人事だとは思わず、改善策を考えたりして協力していきたいと思いました。

私も南魚沼市を良くするようお願いします。



富士野美幸さん

市長が今やっていることやこれからしたいことを聞いて、私たちが大人になったらきにそういうことをできたらいいなと思いました。これか

たと思いました。



阿部夏美さん

あらためて市のことを考えて、新しい魅力が見つかったし、市長の話聞いて、南魚沼市はいいまちだなと思ったので、この会があつて良かった

なと思ったので、南魚沼市もそういうことができるといいなと思いました。



小野塚凛平さん

昨年の都道府県魅力度ランキングで、7年連続最下位だった茨城県が順位を上げていて、アピールの仕方がうまくなって魅力が上がったのか、南魚沼市もそういうことができる

未来を考える会を終えて一言